



米沢有為会 米沢支部だより

(公社)米沢有為会米沢支部総会を5月31日(土)午後3時からホテルサンルート米沢で開催しました。議事では平成25年度公益社団法人米沢有為会米沢支部の庶務報告、支部決算報告を承認。26年度の支部事業計画(案)と予算(案)も原案通り可決しました。

次に有為会が公益社団法人に認可されたことに伴う支部規則及び教育・産業功績者表彰規則の改正について審議され、承認されました。その他では奨学金の貸与状況や東京と仙台の興譲館寮の入寮状況が報告されました。

総会に引き続き米沢支部表彰式が行われ、17個人、3団体に特別顕彰が贈られました。(詳細は次ページに)。

第 29 号

平成26年 8 月28日

発行者

(公社)米沢有為会米沢支部

支部長 安部三十郎

米沢市金池5-2-25

☎ 0238-22-5111

法人賛助会員の募集にあたって



米沢有為会
米沢支部組織部長

遠藤 善之

米沢有為会が念願の公益社団法人に移行する事となり、組織が大きく変わり役員の方々も理解認識するのに必至の現状です。会員の名称も内容も様変わりし、特に有為会の基盤を確固たるものにするには法人賛助会員の皆様のお力が是が非でも欠かせないことが役員一同理解するに至りました。

時代がどのように変化しても、私は「人は生来善である」と信じておりますので、有為会の主旨と内容を理解していただければ、人は誰かの為になることに、惜しまず財を拠出してくださるものと確信し企業を訪問させていただきました。

多くの社長さん支店長さん或は院長さんから、その主旨をご理解いただき、御入会いただきましたこと心から厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

また内にあつては役員の方々の努力がみんなの心を動かし、一段と動きが加速し会員拡大の成果が表れてきたことに感謝を申し上げます。非力の組織部長を支えていただきました。ご足労をお掛けいたしました。

歴史と文化の町米沢にあつて、長きにわたり(120年)有為の人材を育てる一役を続けてこれました事、これは地域の方々からのご理解あえばこそとありがたく心から感謝を申し上げる次第です。私達役員はその事を肝に命じ、会のさらなる発展のために努力を重ねましょう。今後ますます時代に添った運営がなされて、人材育成が継続されると信じて。

多くの企業の皆様、会員の皆様これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。特に有為会の育英事業である東京興譲館寮、仙台興譲館寮、奨学金貸与制度の募集について該当者に応募の周知をいただければ幸いです。また、皆様から更なる会員の拡大に向け声がけよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

感謝合掌

米沢有為会米沢支部だより

17個人・3団体を特別顕彰

支部総会の席上、表彰規則に基づき特別顕彰として次の17個人・3団体が表彰されました。今回も教育功労者、産業功労者の該当はありませんでした。なお、本部表彰者は有為会会誌で紹介されます。
受賞者は次の通りです。
(学校・学年は平成25年当時のものです。)

支部特別顕彰

▼山田璃可子さん

(赤湯小6年)

県小学生陸上競技大会女子走幅跳・優勝 全国小学生陸上競技交流大会女子走幅跳・出場



▼赤湯小女子リレーチーム

金子和香葉さん、鈴木梓桜さん、山口花恋さん、山田璃可子さん

県小学生陸上競技大会女子400Mリレー・優勝 全国小学生陸上競技交流大会女子400Mリレー・出場

▼伊藤悠音さん

(赤湯小5年)

県小学生陸上競技大会5年男子100M・優勝 全国小学校陸上競技交流大会5年男子100M・準決勝進出

▼吉水実夢さん

(沖郷小6年)

全国児童生徒「明るい選挙啓発ポスターコンクール」・文部科学大臣・総務大臣賞(県では特選)

▼小倉七海さん

(犬川小6年)

県卓球選手権大会・全日本卓球選手権大会県予選会ホープス(小学6年生以下)の部女子シングルス・優勝(5年生から2連覇) 全国ホープス選抜卓球大会・出場

▼山口月楓さん

(中郡小6年)

全国教育美術展絵画の部・特選「おいしいぶどう大収穫(「教育美術2号」に掲載)

▼黒澤里菜さん

(中郡小5年)

県小学生陸上競技大会5年女子100M・優勝 全国小学

生陸上競技交流大会5年女子100M・準決勝進出(ベスト20)

▼米沢市立第一中女子バスケットボール部

県中学総合体育大会女子バスケットボール・優勝 東北中学校バスケットボール大会女子・第3位

▼松本 慧さん

(米沢二中1年)

全国中学校水泳競技大会飛込競技高飛込・3位 全国「OCジュニアオリンピックカップ」夏季水泳競技大会飛込・第4位 同高飛込・第3位

▼色摩咲恵さん

(米沢六中3年)

東北中学校陸上競技大会女子走幅跳・第2位

▼米沢恒武館Aチーム

佐藤 界成さん、油井大気さん、柊沢 歩さん、佐藤由一郎さん、片倉 隆介さん

東日本少年剣道大会中学生団体の部・優勝

▼佐藤 和さん

(宮内中2年)

県中学校総合体育大会陸上競技女子100Mハードル・優勝

同女子走幅跳・優勝 東北中学校陸上競技大会女子100Mハードル・優勝 全国中学校陸上競技選手権大会女子100Mハードル・出場 ジュニアオリ

ンピック陸上競技大会B女子100Mハードル・第2位

▼相田 輝さん

(高畠一中3年)

県中学校総合体育大会柔道競技 男子個人90キロ級・優勝 東北中学校柔道大会男子個人90キロ級・優勝 東北中学校柔道大会男子個人90キロ級第3位 全国中学校柔道大会男子個人90キロ級・出場

▼武田光明さん

(高畠一中3年)

県中学校総合体育大会柔道競技 男子個人66キロ級・優勝 東北中学校柔道大会男子個人66キロ級・第2位 全国中学校柔道大会男子個人66キロ級・出場

▼布施佑晟さん

(高畠一中3年)

県中学校総合体育大会柔道競技 男子個人60キロ級・優勝 東北中学校柔道大会男子個人60キロ級・第5位 全国中学校柔道大会男子個人60キロ級・出場

▼神保朱季さん

(高畠一中2年)

県中学校総合体育大会柔道競技 女子個人70キロ級・第2位 東北中学校柔道大会女子個人70キロ級・第5位 県中学校新人体育大会南ブロック大会柔道競技女子個人70キロ級・優勝

▼安部航大さん

(高畠四中3年)

県中学校総合体育大会水泳競技 男子50M自由形・第2位 男子100M自由形・第5位 東北中学校水泳競技大会男子50M



▼船山敦司さん

(川西中3年)

県中学校総合体育大会陸上競技男子共通800M・優勝 東北中学校陸上競技大会男子共通800M・第2位 全国中学校陸上競技選手権大会男子共通800M・出場

▼鈴木優花さん

(川西中2年)

第44回世界児童画展・文部科学大臣奨励賞(内閣総理大臣賞に次ぐ特別賞5点のひとつに選定)

▼松本 駿さん

(興譲館高1年)

68回国民体育大会水泳競技少年男子飛板飛込・第6位 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会飛込競技男子16-18歳高飛込・第4位

平成25年度 決 算

自 平成25年 4 月 1 日
至 平成26年 3 月31日

〔収入の部〕

項 目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②－①	摘 要
繰越金	258,002	258,002	0	
会 費	2,230,000	1,888,000	△ 342,000	正会費 @7,000×89人＝ 623,000 賛助会員(個人) @3,000×345人＝1,035,000 賛助会員(法人) @10,000×23人＝ 230,000
諸収入	98	57	△ 41	預金利子等
〔収入合計〕	2,488,100	2,146,059	△ 342,041	

〔支出の部〕

項 目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②－①	摘 要
1 本部費	1,115,000	944,000	△ 171,000	会費納付金 1,888,000 × 1/2
2 事業費	520,000	433,974	△ 86,026	
教育奨励費	235,000	164,714	△ 70,286	特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	35,000	0	△ 35,000	
講演会・交流会費	100,000	79,580	△ 20,420	講師謝礼及び交流いも煮会費
支部だより費	150,000	189,680	39,680	支部だより印刷、郵送料
3 管理費	610,000	438,241	△ 171,759	
事務費	120,000	120,000	0	常務理事報酬
会議費	5,000	0	△ 5,000	
総会費	70,000	43,600	△ 26,400	総会案内はがき印刷、案内郵送料等
通信運搬費	200,000	122,125	△ 77,875	理事会・本部総会案内・会誌等送料
印刷費	120,000	84,000	△ 36,000	封筒印刷
諸手数料	60,000	47,120	△ 12,880	郵便振替手数料（会費振込分）等
消耗什器備品費	20,000	14,016	△ 5,984	流しゴム印代等
交通費	10,000	6,800	△ 3,200	仙台支部芋煮会参加者旅費
諸雑費	5,000	580	△ 4,420	弔電代（淀川泰正氏）
4 予備費	63,100	0	△ 63,100	
5 次期繰越金	180,000	329,844	149,844	
〔支出合計〕	2,488,100	2,146,059	△ 342,041	

平成26年度 予 算

自 平成26年 4 月 1 日
至 平成27年 3 月31日

〔収入の部〕

項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①－②	摘 要
繰越金	329,844	258,002	71,842	
会 費	2,240,000	2,230,000	10,000	正会費 @7,000×90人＝ 650,000 賛助会員(個人) @3,000×370人＝1,110,000 賛助会員(法人) @10,000×50人＝ 500,000
諸収入	56	98	△ 42	預金利子等
〔収入合計〕	2,569,900	2,488,100	81,800	

〔支出の部〕

項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①－②	摘 要
1 本部費	1,120,000	1,115,000	5,000	会費納付金 2,240,000 × 1/2
2 事業費	480,000	520,000	△ 40,000	
教育奨励費	160,000	235,000	△ 75,000	特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	0	35,000	△ 35,000	
講演会・交流会費	120,000	100,000	20,000	講師謝礼及び案内印刷、郵送料等
支部だより費	200,000	150,000	50,000	支部だより発行（2回）印刷、送料
3 管理費	670,000	610,000	60,000	
事務費	120,000	120,000	0	常務理事報酬
会議費	10,000	5,000	5,000	諸会議費
総会費	70,000	70,000	0	総会案内、資料印刷、運送料等
通信運搬費	200,000	200,000	0	理事会・会報・会誌等送料
印刷費	120,000	120,000	0	案内葉書、封筒印刷等
諸手数料	70,000	60,000	10,000	郵便振替手数料（会費振込分）等
消耗什器備品費	50,000	20,000	30,000	各種消耗品、ゼロックス代等
交通費	20,000	10,000	10,000	各支部等交流旅費等
諸雑費	10,000	5,000	5,000	
4 予備費	89,900	63,100	26,800	
5 次期繰越金	210,000	180,000	30,000	
〔支出合計〕	2,569,900	2,488,100	81,800	

リレー随想 ⑮

新築成った仙川



庄司 芳彦

新築成った仙川の寮舎に、新調の学生服で意気揚々と入寮したのは、昭和四十一年の四月でございました。

場所は変われど当時、高田馬場時代の伝統文化は諸先輩の中で脈々と活きており、寮祭・舎生会などの各行事が、米沢弁で、どんぶく、下駄履きと共に我々下級生を交えて肅々と執り行われたものでした。

そうしたなか、継承された陰の行事に「コンパ」と云うモノが有りましたね。

元来は、世慣れぬ下級生達が先輩の部屋を一升携えて訪ね、話を聞いたり、当番日誌をもとに指導を受けたりというものでしたが、新寮に研修室が出たのを幸いとか何とか無く、寮の先輩後輩の説教兼懇親の場として、月に一回のペースで、持ち込みの酒宴がひっそりと開かれていたんです。

しかし、仕送り額の多少で、参加メンバーが偏るのは民主的では無いとの大長老の一言で、会費制にしたんです。

よ。

酒采は白菜の洗面器鍋。支度は下級生。タバコひと箱百円の時代に会費三百円で飲めるんですから、大盛況でも台所は大赤字でした。

それで、仙川カクテルというのを作りました。合成酒二割に宝焼酎三割お湯五割で徳利を嗅ぐと日本酒の香りがあるんです。用足しが近くなるのが欠点でしたが、先輩方は騙された振りをして良く飲んでくれました。

一度だけ近所と揉めました。某先輩が凱歌を歌いながら隣のタクシー会社の屋根に飛び移ったんです。警官が来て寮長が呼び出されました。しばらくして帰って来ると「うずけんなど」と一言。しばらくは大人しくしてたと思います。

新宿争乱や安田講堂など世の中が騒乱に渦巻くとき、私達は世田谷の一角で隔絶してひたすら有為人とは、よき人間とはを各々の方法で模索していたんだと思います。

暫くして寮の中は人間関係を求める人たちと、勉学に勤しむ仲間とに分かれ、部屋替えにも如実に現れました。

本来寮生活とは何なのか。

未だに明確な答えを私は持ち合わせていませんが、今の私が東京興譲館の寮生活の四年間で作られたのは確かなんですから。

編集後記

▼東日本大震災が起きた後、豪雪があり、集中豪雨や土砂崩れ、局所で電が降ったり竜巻が起きたり。何となく大自然が異常だなどの思いにとらわれている。

▼そんなこの夏、米沢市でマイマイガが大量発生し、市民を困らせている。水銀灯に多く集ま

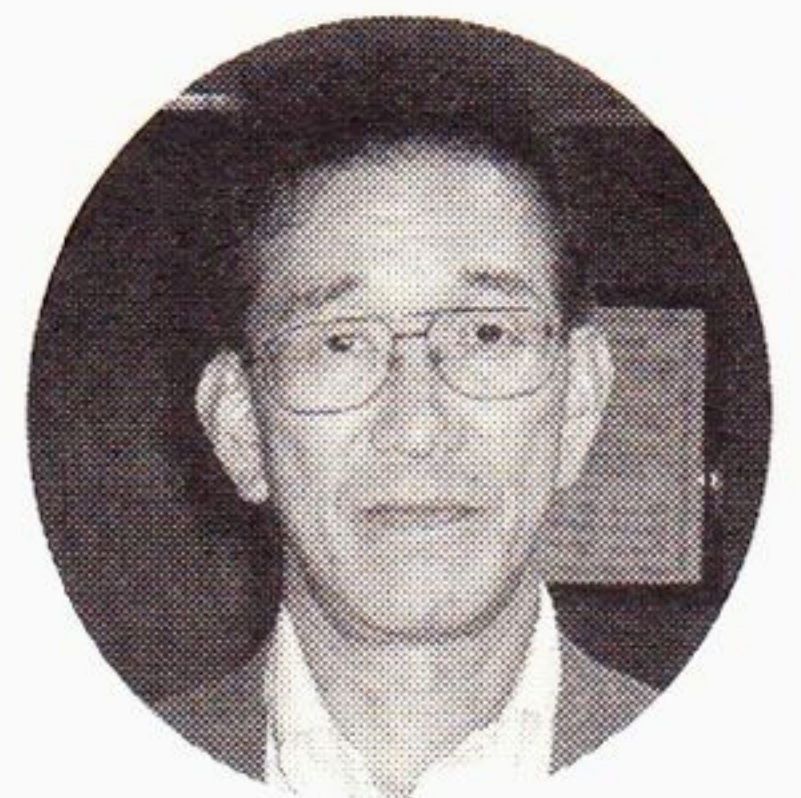
るが、米沢駅前や白布温泉が特に多く、観光客にもイヤな感じを与えたと聞く。2、3年続くというから来年も心配だ。

▼こうした現象は、人類が地球環境を破壊した報いなのか。オーマイゴッド。(山)

～ 活躍する会員紹介 ～ ⑰

米沢信用金庫
理事長

加藤 秀 明 さん



Q1 このたびの理事長ご就任、おめでとうございます。早速ですが抱負をお聞かせください。

A1 抱負とまではいかないですが、信用金庫の使命である①中小企業の育成支援②市民生活の向上③地域社会の発展を忠実に果たしていきたいと思っています。特に、地元企業が元気になり、若い人にも魅力ある職場になれば雇用拡大につながる。信金もその一員であり、自らが率先して努力しています。

Q2 そのために大事なことはなんでしょう。

A2 マンパワーだと思います。人材力を高めるための方策を講じ、人材育成を図っていききたい。信金では山形大学と連携で産学金コーディネーターを設置しています。中小企業を訪問し支援するコーディネーターを育成しており、連携

をより強化していきたい。

Q3 その他にも地域密着事業が多数あると思いますが、紙面の都合で簡単に教えてください。

A3 地域の事業へ積極的に参画しています。場合によっては企画段階からお手伝いします。人口が減少する中で、交流人口を増やすことが大切だと感じています。その手立てとしてイベントなどは効果的で、やり方次第で活性化の芽はあると思います。

Q4 米沢有為会に望むことなどありますか。

A4 130年の伝統を重ね、全国でも稀有な素晴らしい組織だと敬意を表しています。公益社団法人となり、更なる充実発展が図られますよう祈念しております。